

# 平成23年度 軽井沢高等学校 第1回学校評議員会 会議録

平成23年7月11日(月)

- ◇授業参観(各教室等) 14:30~15:00
- ◇学校評議員会(多目的室) 15:10~17:00

## 出席者

[学校評議員(「実施要項」に定める選出母体順):敬称略]

- 片山 康光 (軽井沢高校 PTA 会長)
- 佐藤 一郎 (軽井沢高校同窓会会長)
- 土屋寿美子 (軽井沢中学校 PTA 副会長)
- 竹内 敬一 (軽井沢中学校教頭:校長代理)
- 荻原 勝 (軽井沢町教育長)
- 袖山 卓也 (軽井沢町商工会副会長:会長代理)
- 菅原 恭彦 (追分区副区長:公募)



配付資料



学校案内

## [学校職員]

- 内堀 繁利 (学校長)
- 田澤 直人 (教頭)
- 柳澤 智 (事務長)
- 山極俊一郎 (教務主任)
- 勝見 善孝 (進路指導主事)
- 堀内 和徳 (生徒指導主事)
- 草間 千枝 (生徒会主任)
- 岩下 睦子 (1学年主任)
- 宮坂 雅昭 (2学年主任)
- 青木 裕士 (3学年主任)
- 湯本いずみ (教務係)



授業参観

## 次 第

進行田澤 記録湯本

### ◎委嘱式

- 1 開会
- 2 学校長挨拶
  - ・第1回学校評議員会を全員揃って開催出来ることを嬉しく思う。



学校長挨拶

- ・第1回学校評議員会では学校を知ってもらいたい(学校目標、学校評価、様子について等)。そして、学校を理解していただき、ご意見をいただきながら、一緒に学校づくりをしていただきたい。

- ・学校案内より…学科改編についての説明。詳細はこちらから <http://blog.goo.ne.jp/karui-hs2011>

### 3 学校評議員および学校職員自己紹介

### 4 学校概要について報告

#### (1) 学校評価について (山極)

- ・学校評価の必要性
- ・本年度の重点目標
- ・学校評価の日程説明

#### (2) 進路学習指導について (勝見)

- ・本年度指導方針
- ・進路決定に向けての指導



生徒会係の説明

#### (3) 生徒会活動について (草間)

- ・生徒会活動の概要 (新入生歓迎会、挨拶運動、委員会活動、生徒総会、壮行会、軽高会議、等)
- ・今年度噴煙祭 一般公開日 8月28日 (日)
- ・各種発行便りについて (軽井沢高校新聞、図書便り等)

#### (4) 生徒指導について (堀内)

- ・活動方針、目標
- ・生徒指導の現状

#### (5) 各学年から

##### ア 1学年から

- ・学年通信より…指導方針の説明、年度当初の様子
- ・今年度より「くくり募集」の開始
- ・模擬試験受験への働きかけ
- ・修学旅行…沖縄への旅行を予定している。

##### イ 2学年から

- ・今年度は中だるみにならないように、清掃活動の徹底、挨拶の徹底を大切にしている。
- ・修学旅行…台湾への旅行を計画している。
- ・進路実現に向けて、2年生のうちから学校見学等に積極的に参加させていきたい。

##### ウ 3学年から

- ・現在78名 (普通科65名、国際文化科13名)
- ・自分から主体的に学習するよう継続して指導してきた。現在は木曜日のLHRや総合的学習の時間を使い進路実現に向けて指導している。
- ・現在は噴煙祭に向けて生徒会活動でもリーダーシップをとっている。

### 5 学校評議員の皆様からのご質問、意見交換

片山評議員 本校のOBであるので、当時を振り返りながら現在の高校生を見てみると、だいぶ変わったように感じる。素行も昔に比べるとだいぶ良くなったように思う。朝も知らない生徒が挨拶をしてくれる。最近の軽高生はそういった意味でもだいぶよくなってきたように感じる。

佐藤評議員 授業を参観させていただいて落ち着いているように感じた。軽高生とすれ違うと挨拶をしてくれる。現在は家庭でやるべきことを学校にやらしてもらおうという考えの人が増えてきて、そういった世代が社会に出てきている。家庭でやるべきことと、学校でやるべきことをきちんと分けて考えていかなければいけないように思う。学科改編に向け、同窓会としてもたくさんの生徒が入学してくれるようになることを期待している。

- 土屋評議員 午後の眠くなる時間帯であるのにきちんと授業を受けていた。理科の実験でも先生と和気藹々と授業をしていた。とても活気があり好印象を受けた。
- 竹内代理 美術の授業では作品に対し丁寧に取り組んでいた。国語の授業でも自分たちのやるべきことをきちんと理解しているような印象を受けた。その他にも授業を参観させていただいたが、先生方の前向きな姿勢が生徒を前向きにさせているように感じた。生徒を前向きにさせるための指導法等あれば教えていただきたい。
- 草間 生徒会はもともとクラスや学年を越えての活動であるので、そういった中で前向きな姿勢が培われている。また、入学後のガイダンスでは、グルーピング等を行い仲間作りをしている。
- 青木 学年通信を利用して生徒に訴えたり、HRで様々なことを投げかけたりしている。また何か悩みを抱えている生徒の話はじっくりと聞き未然に問題を防げるように取り組んでいる。また、クラブ活動では厳しく指導する部分があると生徒たちがまとまるように感じる。
- 荻原評議員
- ・中高交流を深めていくこと（出前授業をしっかりと行うなど）が生徒募集増につながるのではないかと感じる。
  - ・学校評価をどのような範囲でどのように進めているのか。評価は誰がするのか。
  - ・「軽井沢高校ならではの取り組み」として、さらに、例えば軽井沢高校の前に駅を作る。そのほかにもカーリング部、ゴルフ等に力を入れる。ホッケー部の他県への流出を防ぐための方策をたてる（寮を完備する等）。など様々なプランを考えたらどうか。
- 山極 評価者については、12月に保護者にアンケートを実施。生徒には学期ごと授業アンケートを実施。アンケートの結果を受けて教育活動に反映させていく。そして年度末に総合評価を行って、次年度に反映させている。
- 学校長 「軽井沢高校前駅」については様々なところでお願いをしてきた。町役場まで行き着き返事を待っている状態。これからもお力添えをいただきたい。
- 学校長 冬のスポーツについて、ホッケー部には県外からもだいぶ生徒が集まり入部してくれている。寮に関しては予算の面で作るの難しい。現在も全面的に協力してくれるような施設等をお願いしたり、探したりしている。冬のスポーツの他校への流出については難しい部分もあるが、地元の中学から多く入学してくれるとありがたい。またカーリングについては地域やチームがバラバラな面があり、カーリング協会にもジュニア選手の育成のあり方について、一つの高校でチームが作れるようになどお願いをしている。
- 袖山代理 子どもたちの服装が数段良くなっている。挨拶も以前は自分から声を掛けていたが最近では生徒の方から挨拶をしてくれる。子どもたちの物事に対する積極性はどうかかなと感じていたが、学校からの報告をお聞きして、子どもたちが積極的になれる場を設けているように感じ安心した。
- 菅原評議員 1クラスの生徒数が少なく、和気藹々としている感じを受けた。AETとの授業など素晴らしいと思った。次回は部活動も参観できるといいなと思った。

## 6 閉会



授業参観（美術）



授業参観（理科総合）



授業参観（国際コミュニケーション）



授業参観（物理）



委嘱式



学校長挨拶



進路指導主事からの説明